

2

あまり見かけないけど、生き物は減ってしまったの？ どうしてなのかしら？



人間による自然破壊や外来生物が生き物のすみかをおびやかしている。

日本は、北海道から沖縄まで地形や気候が変化に富んでいて、そこにさまざまな生き物がくらす豊かな自然があったんだ。でも、自然破壊によって、これまでに多くの生き物が数を減らしているんだ。なかには日本からいなくなってしまう生き物もいるんだよ。

また、最近では、外国から持ち込まれた生き物(外来生物)が、日本に昔からすんでいた生き物のくらしをおびやかすことがあるんだ。

●人の活動や開発で、生き物のすみかが壊される。



●外国から持ち込まれた生き物(外来生物)を逃がしたり、捨てたりせずに、責任を持って飼育しましょう。



ボクも虫を飼っているけど、最後までちゃんと飼わないといけないんだね。

●日本のレッドデータブック

(平成17年3月) (絶滅のおそれのある動物たち)

	絶滅	野生絶滅	絶滅が心配されている数
動物	47	2	668
植物	55	7	1,994

野生絶滅:自然の中にはもうすんでいません。

人間によって保護され、育てられています。



絶滅してしまったら、もう生き返らせることはできないんだ。



ツシマヤマネコ

日本では対馬(長崎県)にだけいるヤマネコで、自然破壊や、交通事故等により絶滅が心配されている生き物です。



トキ

「ニッポニア・ニッポン」という学名がつけられ、日本を代表する美しい鳥でしたが、乱獲の影響等で日本生まれの野生のトキは絶滅してしまいました。



3 自然を守る方法ってあるの？

日本の美しく素晴らしい自然の風景を自然公園として指定しているよ。

自然公園に行ったことがあるかい？ 日本の美しく素晴らしい自然の風景を自然公園として指定することで守っているんだ。指定された場所では、自然を壊すような開発をしないようにしたり、生き物のすみかを守る決まりを作ったりしているんだ。

また、自然公園は自然を観察したり、野外レクリエーションなどを通じた自然とのふれあいの場としての役割も果たしているんだよ。さあ、行ってみよう!!

●自然公園のうち国立公園は北海道から沖縄まで全国に28か所あります。



くしろしつげん 釧路湿原国立公園

約2万年前の氷河期の生き残りといわれるキタサンショウウオがいます。また、タンチョウもこの湿原で見ることができます。



ちゅうぶさんかく 中部山岳国立公園

北アルプスとも呼ばれ、3,000m級の山々が連なります。上高地から見る穂高連峰などの景色は、日本を代表する山岳景観です。



いりおもて 西表国立公園

日本の最南西端にある国立公園です。亜熱帯の島で、美しいサンゴ礁があります。イリオモテヤマネコもすんでいます。

日本には北海道から沖縄まで、さまざまな自然があるのね!



熱帯魚が泳いでいる海が日本にあったのか〜。泳いでみたいねえ〜。



●子どもパークレンジャー

素晴らしい自然を守るレンジャーやパークボランティアと一緒に、小中学生が自然とふれあひながら、国立公園のパトロールや、動物や植物の調査などを体験できます。



(<http://www.jeef.or.jp/jpr/jprindex.html>)

●インターネット自然研究所

インターネット自然研究所では、全国の生き物の情報や国立公園などの現在の風景、絶滅のおそれがある生き物の情報など、もりだくさんの情報をお届けしています。



インターネット自然研究所で調べて、実際に自然の中へ出かけよう。

(<http://www.sizenken.biodic.go.jp/>)



●自然や生き物を守る仕事(自然環境局)

豊かな自然にあふれた社会をめざして国立公園の管理や、動植物の保護などに取り組みます。

(環境省のホームページ <http://www.env.go.jp/nature/>)

Mission 6

大切な自然を守ろう 自然を調査せよ

地球上では、自然のしくみのなかで、動物や植物が支えあって生きて
 いるんだ。でも人間はどうだろう。自然をつぎつぎ壊して便利なく
 らしを手に入れている。動物や植物はどうになってしまうのだろう。
 さあ、いっしょに調査しよう。



1 まずは自然のしくみをチェックだよ。

自然界では生き物が支え
 あって生きている。

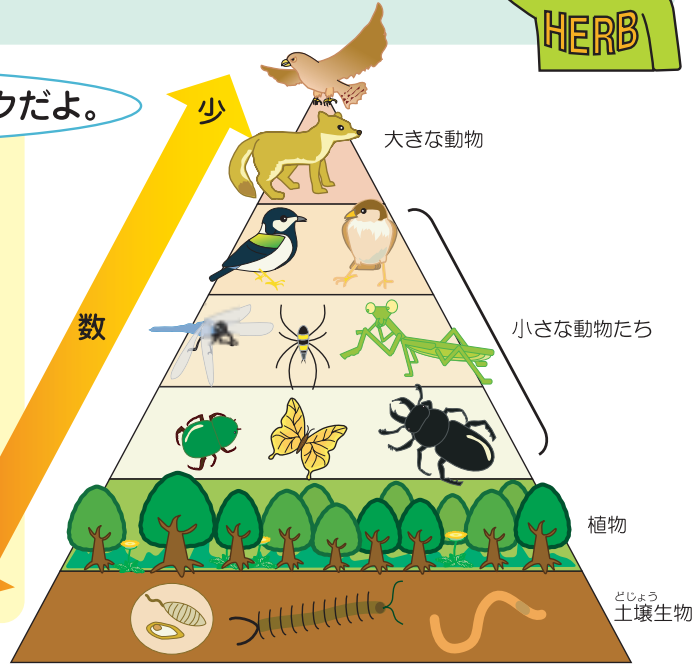
自然のしくみでは、生き物たちは「食う—食わ
 れる」関係のもと、動物や植物がお互いに支えあいな
 がら、微妙なバランスを保って生きているんだ。

でも、人間が自然を壊すことで、この「しくみとバ
 ランス」がくずれてしまうことがあるんだ。

人間も、もちろん、自然の恵みを受けて、とも
 にくらす仲間なんだ。だから、自然を壊すと、動
 物や植物だけでなく、わたしたち人間もこま
 ることになるんだよ。



大きな動物が生きていくには、
 こんなにたくさんの生き物
 の支えが必要なんだね。



ポイント知識

人がつくった豊かな自然 「里地里山」

かつて日本人のくらしは、自然のしくみを上手に利用していました。里山の雑木林から薪や炭を作り、落ち葉は田畑の肥料に利用していました。人が雑木林に手を入れることで、林の中には、適度に光が入り、さまざまな草花が育ち、カブトムシやクワガタムシがすむ豊かな自然が育まれてきました。しかし、薪や炭を使わなくなった今、雑木林と人の関わりがなくなり、林の手入れがされず豊かな里地、里山が失われつつあります。



身近な生きものについて調べてみよう



「ツバメの巣」や「セミのぬけがら」、「ドングリ」など季節によって見られる身近な生きものについて、それが見られる時期や場所などについて調べてみよう。
 調査のやり方は、環境省のホームページ「身近な生きもの調査」が参考になります。また、調査の結果も見ることができます。
 (身近な生きもの調査ホームページ <http://www.biodic.go.jp/mijika/index.html>)

4 どうすればわたしたちにも自然を守ることができるのかしら？



自然を観察する

ここにどんな生き物がすんでいるか調べないと、減ったのかわからないわね。

自然を守る

田んぼや雑木林にしかすめない生き物がいるのね。

自然を再生する

自然な道に歩いたら、もともといた虫たちが戻ってきたよ。

●まちの中の公園に行ってみよう

まちの中にも、自然や緑と親しめる場所があります。近くの公園に行ってみましょう。公園は、都会の生き物にとっても、すみかとして大切な場所になっています。



こうきがいえん 皇居外苑



しんじゅくぎょえん 新宿御苑



きょうとぎょえん 京都御苑

桜や紅葉の季節はたくさんの方が来るそうなんだ。都会のオアシスになっているんだね。



●緑を増やそう

学校などでヘチマなどの植物を利用した緑のカーテン作りをしています。子どもたちが植物に親しみながら、緑のもたらす涼しさを感じることができます。



緑のカーテン (写真提供: 東京都板橋区立板橋第七小学校)

自然を守って、生き物たちが安心してらせる山や海、川にしてあげないといけないな。



HERB隊長から一言

自然を知り、動物や植物の生きる場所を守ること、なかよくすることは、人間にとっても大切なことなんだよ。

Mission クリア!

